

# 助産学概論

ナンバリング:N3-S2-L01

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

## ・学修方針(講義概要等)

助産学の基本理念を踏まえ、これまでの国内外の歴史の変遷や現代における助産師の役割を学ぶ。加えて、助産学の主な対象となる女性への支援に焦点をあて、おかれている社会的背景を考察しながら、現代における助産師の役割を理解する。具体的には、助産師が行うケアの理念、お産の歴史と文化、助産師教育の変遷、日本・世界の母子保健、助産実践の倫理、特別に支援を要する健康問題(不妊、ドメスティックバイオレンス等)および家族計画について学修する。

## ・教育成果(アウトカム)

助産実践に関する基本概念を学びを通し、現代社会における社会的・倫理的課題を理解し、助産の専門性および助産師の役割を主体的に考察できる。

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。
9	変動する国際社会にあつて、看護職者の役割を国際的な視野で認識できる。

## ・到達目標(SBO)

1. 助産の専門性と、それに基づく助産師に求められる実践能力を説明できる
2. 女性を中心としたケアおよび継続したケアが対象にもたらす効果をふまえ、その必要性を説明できる
3. 助産師の責務と裁量権を説明できる
4. 倫理的な助産実践を支える諸規定を理解し、起こり得る倫理的課題と求められる対応を説明できる
5. 家族の機能を理解し、現代社会における家族の変化や課題を説明できる
6. 助産の変遷を理解するとともに、助産師として多様な文化ケアを尊重することの重要性を述べることができる
7. 日本と諸外国の助産師教育の特徴および助産師のキャリア発達について理解できる

## ・授業日程

【講義】	会場: マルチ4A	
月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/2 木 5限	<p>【授業内容】助産とは何か (グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際助産師連盟や日本助産師会等による助産師の定義をもとに、助産の専門性を説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1</p> <p>【事前学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助産と看護の共通点と相違点を書き出す</li> </ul> <p>【事後学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助産の専門性について要点をまとめる</li> </ul>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授

4/3 金 5限	<p>【授業内容】助産師のコアコンピテンシー（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助産師の理念とコアコンピテンシーの4要素の関係を説明できる</li> <li>・助産師のコアコンピテンシーの4要素それぞれの具体的場面を想起できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1</p> <p>【事前学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修課題に取り組み、4/1(水)助産課程ガイダンス開始時に提出する</li> </ul> <p>【事後学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助産師のコアコンピテンシーについてノート等に要点をまとめる</li> </ul>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
4/7 火 5限	<p>【授業内容】女性を中心としたケア/継続したケア(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の健康へのアプローチの特徴を説明できる</li> <li>・女性を中心としたケアが女性にもたらす効果を説明できる</li> <li>・周産期における継続したケアの必要性と重要性を説明できる</li> <li>・継続したケアが対象にもたらす効果を説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】2</p> <p>【事前学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性を中心としたケアを提供する上でのキーワードをその理由とともに3つ書き出す</li> <li>・周産期における継続したケアの必要性をその理由とともに5つ書き出す</li> </ul> <p>【事後学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業後に配布する事後学修資料を読み、要点をまとめる</li> </ul>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
4/10 金 5限	<p>【授業内容】助産師の責務と裁量権（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助産師の業務と責任を説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】3</p> <p>【事前学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産学講座1」の「助産の定義」および「助産の意義・本質」(P10-13)について、重要点にマーカー等を引きながら読む</li> </ul> <p>【事後学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助産の定義、助産師の業務と責任について要点をまとめる</li> </ul>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
4/16 木 5限	<p>【授業内容】倫理的感応力/助産師の倫理綱領（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助産師のコアコンピテンシー内の倫理的感応力の具体例を想起できる</li> <li>・助産師の倫理綱領を説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】4</p> <p>【事前学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産学講座1」の「助産師の倫理」(P97-114)について、重要点にマーカー等を引きながら読む</li> </ul> <p>【事後学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理的な助産実践について要点をまとめる</li> </ul>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
4/21 火 5限	<p>【授業内容】家族と社会（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の機能と役割を理解できる</li> <li>・現代社会における家族の現状と課題を説明できる</li> <li>・家族をつなぐ助産師の役割を述べる事ができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】5</p> <p>【事前学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産学講座4」の「家族と社会」(P150-167)について、重要点にマーカー等を引きながら読む</li> </ul> <p>【事後学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と社会、家族をつなぐ助産師の役割について要点をまとめる</li> </ul>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
4/24 金 4限	<p>【授業内容】助産の歴史と文化/助産習俗(指導補助者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助産の歴史と文化の変遷を理解できる</li> <li>・多様な文化ケアを理解することの意義を述べる事ができる</li> <li>・日本の助産習俗を理解できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】6</p> <p>【事前学修:90分】教科書「助産学講座1」の「助産の歴史と文化」(P152-167)および「助産の文化論」(P174-187)について重要点にマーカー等を引きながら読む</p> <p>【事後学修:90分】講義後半に配布する資料に基づいた課題に取り組み(5/1(金)17:00までにWebClassに提出)</p>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授

5/13 水 2限	<p>【授業内容】助産師と教育/助産師のキャリア発達（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と諸外国の助産師教育の特徴を理解できる</li> <li>・助産師のキャリア発達について多様な選択肢を挙げることができる</li> <li>・自身のキャリア発達について考えることができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】7</p> <p>【事前学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書「助産学講座1」の「諸外国における助産師教育」(P201-206)について、重要点にマーカー等を引きながら読む</li> </ul> <p>【事後学修:390分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助産師と教育、助産師のキャリア発達について要点をまとめる</li> <li>・全講義内容について教科書該当ページおよび配布資料を読み返し、要点をまとめる</li> </ul>	成育看護学講座 蛎崎 奈津子 教授
-----------------	---	----------------------

・教科書・参考書等

		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産学講座1 基礎助産学[1] 助産学概論 第6版	我那山キヨ子 編 他	医学書院	2022
教	助産学講座4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学 第6版	我那山キヨ子 編 他	医学書院	2023
参	助産師基礎教育テキスト 1 助産概論	工藤美子	日本看護協会出版会	2021

・成績評価方法

【総括的評価】筆記試験40%、グループワークへの取組状況60%にて評価する。なお、グループワークへの取組状況は、主体的・積極的  
態度・グループメンバーとの意見交換・学び合いの状況を含む。

【形成的評価】講義ごとに対話・質疑応答等で理解度を確認し、要点の振り返りやフィードバックを行う。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
2,3,4,8,9	1~7		40	30	30			100
合計		0	40	30	30	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】  
レスポンスカードや提出物は適宜コメントを付し返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】  
助産師(別表2):基礎助産学  
看護師(別表3):専門分野 看護の統合と実践

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】  
当該科目に関連する実務経験の有無 有

医療機関ならびに英国で助産師勤務経験を有する助産師の教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う  
産育史に造形の深い専門家から、多様な価値観や幅広い視野で実践的な教育を行う

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ(P-100)	1	講義用資料投影